

## 令和5年第10回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和5年10月18日(水)  
午後3時30分から午後4時5分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 滝 嶋 正 司  
教育長職務代理者 古 谷 広 明  
委 員 宮 崎 英 子  
委 員 安 河 内 由 香  
委 員 青 田 和 義

欠席者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	内 藤 光 重	次長兼教育総務課長	關 根 浩 由
社会教育課長	石 井 巳 代 子	中央図書館長	田 口 裕 昭
スポーツ振興課長	河 井 一 敏	学校教育部長	田 中 義 久
次長兼教育指導課長	宇 佐 見 昌 義	学 務 課 長	横 田 純 一
書 記	上 村 理 恵		

会議の公開・非公開 議案第50号については、個人に関する情報が含まれ、また、公にすることにより、意思決定の中立が損なわれるおそれがあることから非公開とした。

傍聴者数 0名

報告事項

・令和5年度子ども大学さやまについて

報告者(社会教育課長)

(要旨)

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学、飯能信用金庫、狭山市教育委員会で実行委員会を組織し主催するもので、市内在住の小学校4・5・6年生を対象に行う。武蔵野学院大学のキャンパスを会場に、11月4日(土)、11月25日(土)、12月2日(土)の3日間開催する。この事業については、平成25年度から実施しており、今年度で10回目となる。既に、対象児童には学校を通じてチラシを配付するとともに、広報さやま、公式ホームページで公募し28名の入学が決定している旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、今回、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学が会場とな

っているが、東京家政大学を会場としたこともあったと記憶しており、どのように会場を決めているのかとの質疑に、この事業のほか、東京家政大学とは入間市教育委員会との合同で「子ども大学さやま・いるま」を実施しており、例年、各大学の特性を活かした2件の子ども大学事業を実施している旨の答弁がなされた。

・令和5年度狭山市二十歳の集いについて

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和6年1月7日（日）、市民会館において1部制で実施する。式典の案内状については、令和5年11月1日現在狭山市在住の該当者に対し、11月中旬に発送する予定である旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染が拡大した場合の対策は何か考えているのかとの質疑に、今後の感染状況によっては式典内容の見直しを行うほか、マスク着用が任意となっていることから、受付にマスクや手指消毒液を用意する旨の答弁がなされた。

オープニングの映像上映・チアダンス演技は、どのような内容かとの質疑に、映像上映については、現在の各中学校の写真をスライドで流すもので、チアダンスについては、観光大使であるドリームワンダーランドにお願いするものである旨の答弁がなされた。

・狭山市中央図書館建替基本方針策定等庁内検討会議の設置について

報告者（中央図書館長）

（要旨）

中央図書館は、狭山市公共施設再編計画において、民間資本の活用を含めた民間活力の導入や他の施設との複合化について、総合的な検討を予め行った上で、2028年度（令和10年度）から2037年度（令和19年度）までの10年間で建替える方針となっている。民間活力の導入や施設の複合化は、公共施設等総合管理事業を所管する公共施設管理課をはじめ市長部局で全庁的な検討を進めていくこととなっている。このため、今後求められる機能や施設の規模など、中央図書館の建替えについて具体的な検討を進めるため、中央図書館を事務局とし、建替基本方針の策定と基本方針に基づく事業の推進を目的に、庁内検討会議を設置した旨の報告がなされた。

・狭山市とセコム株式会社における「ホームタウンパートナーシップ  
包括連携に関する協定について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

11月6日（月）、狭山市とセコム株式会社におけるホームタウンパートナーシップ包括連携に関する基本協定を締結する。セコム株式会社ラグビー部（愛称：ラガッツ）は、1985年の創部以来、柏原の練習グラウンド「セコムラグビー

フィールド」を拠点に活動を続けており、ジャパントップのイーストリーグも開催され、トップ選手のプレイを間近で観戦できる機会の提供や小学生を対象としたクラブチームである狭山ラグビースクールへのラグビー指導などの協力を行うなど、本市のスポーツ振興に大きく貢献している。また、市との連携事業として、小中学生を対象に気軽にラグビー体験のできるタグラグビー教室の開催や入間川七夕まつりのステージイベントなどに参加して市民と交流を持つなど、地域貢献活動も積極的に行っている。この度、日本ラグビーにおける最高峰リーグであるジャパン・ラグビーリーグワンより、新規参入チームの受入が公式に発表され、ラガッツがリーグワンへの参入を表明したところである。参入には、ホストエリアの自治体との連携・協働が参入要件の一つとなっている。これまでも、同社ラグビー部には、本市の多くの事業に協力いただいている。こうした機会を捉え、プロスポーツ団体との包括連携協定締結により、イベントなどを通して、一流のスポーツ技術に接し、競技スポーツへの関心を高め、その魅力を広く市民に伝え、より一層の競技スポーツの振興を図っていきたいと考えている。今後も、継続的な協力関係の構築により、本市の活力ある魅力的な地域社会の発展につながることを期待できることから、連携協定の締結に至ったものである。なお、ラグビーを主とするスポーツ振興以外の事業としては、警備会社としてのスキルを活用した防犯セミナーや子ども安全教室など、スポーツ分野に止まらない地域住民の安全、安心な暮らしに関する啓蒙活動についても、協定に含まれていることから、各所管の事業においても連携・協働が図られるものと期待している旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、協定の有効期間は令和6年3月末までと短いがどのような趣旨からかとの質疑に、他の協定と同様に締結の年度末までとし、その後は双方からの特段の意思表示がない場合は毎年度自動更新とする条項としている旨の答弁がなされた。

・ さやまっ子教育の日について

報告者（教育指導課長）

（要旨）

例年、市内小中学校では、11月の第2土曜授業日に合わせ、さやまっ子教育の日を実施し、保護者や地域に学校の教育活動を公開して、児童・生徒の活動の様子を参観していただくなど、学校への理解を図る取組を実施してきた。令和2年度から令和4年度までは、コロナ禍の影響により非公開もしくは、学校の実態に応じた公開となっていた。今年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類となり、感染状況が落ち着いてきているので、すべての学校で公開を予定している。公開内容としては、子どもまつりや校内音楽会、一斉道徳授業、PTA バザーなどが計画されており、各学校で特色のある教育活動が公開される予定である旨の報告がなされた。

委員からは、狭山市の教育の大きな特色の一つでもあるので、終了後の各校での成果と所期の目的に対してどの程度効果があったかを含めて報告してほしい旨の要望がなされた。

- ・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

社会教育課関係 1 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

## 議 案

### 議案第 49 号 令和 6 年度当初市立幼稚園教諭人事異動の方針について

令和 6 年度の市立幼稚園教諭について、人事異動の方針を定めるため、提案がなされたものである。

委員からの質疑等では、来年度の入園申込みが少ないことにより、現在の正規職員である教諭 8 名の異動に影響はあるのかとの質疑に、申込みが少ない場合でも年齢ごとにクラスを設置することから各園 4 名ずつの職員体制に変更はない旨の答弁がなされた。

議案第 49 号については、原案可決した。

### 議案第 50 号 狭山市立博物館協議会委員の任命について

狭山市立博物館協議会委員の任期が、令和 5 年 10 月 31 日をもって満了となることに伴い、新たに委員を任命することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 50 号については、原案可決した。

以 上